

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム和2	評価実施年月日	平成21年7月21日～平成21年8月20日
評価実施構成員氏名	高橋真美、武田信子、浦島知里、櫛谷宏子、佐藤明美、佐々木泉、星宣子、吉田慎子、岩野真由美		
記録者氏名	高橋真美	記録年月日	平成21年8月20日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>理念の作り変えはしていないが、地域生活の継続支援と事業所と地域の関係性を重視した理念を大切にしている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>ケースカンファレンスでは、理念を掘り下げ具体的なケアにつなげていける様に努めている。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>今後、理念の作り変えを行う際には、パンフレットやたより、運営推進会議を通し紹介をしていきたい。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>日常的に散歩や買物などに出かけ、地域の人達と挨拶を交わしたり、話をしている。ホームで犬を飼っているため、近隣の方や通学途中の学生さんなど来訪される事が多くなっている。又、個別的だが定期的に入居されている方の様子を見にきて頂いている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>自治会に加入し、自治会の行事である敬老会の参加をしたり、地域の行事には積極的に参加をして頂ける様に努め、交流を楽しまれている場面は多い。又、ホームの行事であるお花見会は毎年、自治会のご参加をして頂き、ご家族様も含め参加数も多くなっている。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>たよりを通し、認知症の相談を呼びかけしているが、実際の相談として多くは、入居を検討されている方が見学にいらした時が殆んどである。</p>	○	出来る限り、地域にも目を向け協力出来る様、検討していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>昨年度の評価を参考に一つでも改善できる様に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回運営推進会議の開催をし、生活状況や活動状況、入居予約をされた方の待機状況などを報告し、質問や意見を受け、サービス向上に活かしている。事業所からの報告にとどまらず、双方向的な会議となるよう雰囲気づくりに努めている。</p>	○	サービス評価について、自己評価・外部評価の結果の提示とともに目標達成計画についても開示していきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域包括支援センター主催である2ヶ月に1度の地域ケア会議に参加し、各事業所の情報交換や実態を把握する機会としている。又、事業所として疑問な事柄などに対して、市町村担当者に相談をし、対応をして頂いている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修にて学ぶ機会はあるが、積極的に理解を深めるまでには至っていない。現在、利用が必要な利用者は居ないが、今後、職員全員で理解出来る様努めていきたい。</p>	○	制度の理解に努め、機会あるごとに職員への説明に努めていきたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>市の虐待対応マニュアルに沿い、事業所内での伝達をし、共に対応を振り返りながら話し合いをし、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時には、時間をとって説明を行っている。ケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行い、納得が得られる様に努めている。介護報酬改定時には、個別に文章を用い説明を行い、来設時に再度説明を行うなど一方的にならない様、心掛けている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見や不満はその都度、傾聴しスタッフ間で共有をし出来る範囲で反映できる様、努力している。	○	認知症の利用者も支援をし運営に関しての意見を外部の人に伝えられる機会作りをしていきたい。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	利用者の体調変化時には、その都度お電話にて報告をしている。又、月に1度ご本人の写真付きの用紙でお便りをし、暮らしの様子の報告と金銭出納も明らかにしている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	契約時の重要事項説明書に苦情相談窓口を記載し、各フロアには意見箱を設置している。又、ご家族には特に訪問時に何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意をし、出された意見や要望はスタッフで共有をしケアに反映するよう努めている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	社長、管理者、職員全員が参加する全体会議を2～3ヶ月に1度行っている。又、ともに要望や意見を聞くよう心掛けているが、不満は言い難い部分も多いので、把握しきれない可能性もある。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	夜勤者1名であり、夕方から就前まで不安になる利用者の状況もあり、遅出・早出体制を開始していたが、人員不足で一時中止となっている。状況に合わせて、時間帯の調整など話し合いながらすすめている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	以前よりも職員の離職は少なく定着してきている。又、異動時や新職員が入られた時には、管理者や介護主任からの紹介をし、経験者のスタッフと行動をしともにゆっくりと関係を築いていける様配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>外部研修の情報を収集し、職員の段階に応じ出来る限り多くの職員が受講できるように調整をし、費用も事業所負担としている。研修報告は、2～3ヵ月毎の全体カンファレンスで発表してもらい、伝達するようにしている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>同業者との交流や連携が重要と認識をし、グループホーム協議会に加入している。研修を通し情報交換や交流の場となり、サービスの質を向上させる努力をしている。近隣のグループホームとの直接的な交流は行っていない。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員間でお互いに話せる環境づくりに努力している。又、全体会議を通して全員で共有する時間作りも行っているが、積極的な取り組みには至っていない。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>資格取得の為に勤務の調整や資格取得後は、賃金に反映している。その他に、向上心を持てる様な環境づくりに至っていない。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居相談時には、特に不安など様々な思いがあるので、話をよく聴く時間を確保し不安の原因を把握する事に努めている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>家族の思いや困っている事、本人や家族同士との歴史や関係性など個別性があるので初期の段階ではあるがまます受け止める努力をしている。利用前には、自宅訪問により環形づくりの機会に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	殆どどのケースが他事業所からの紹介にて入居相談をされるので、頻度としては少ないものの初期相談時に必要がある場合には、担当するケアマネージャーに連絡する様努めたい。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前には、自宅訪問をしその方の暮らしを理解するよう努め、必ずホームの見学を勧め可能な限り1度はホームの空間を体験して頂く機会作りをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一方的な関係ではなく、人生の先輩であることを忘れずに今までの経験や得意な事を把握し、お花や野菜の苗植えや収穫、山菜採りなど知識を教えて頂くなどお互いに支え合う関係作りに努めている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族が来設された時や計画説明時に、利用者の様子を細かく伝えるようにし、気づきの情報共有に努め、ご本人を支える為の協力関係が築ける事が多くなっている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	疎遠になっているご家族もいるが、ご家族の心理状況も考えながら、来設時には職員から声かけをしゆつくりと距離を縮めていく努力をしている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	自宅への同行や馴染みの美容室など可能な限り出掛けて行ける様努めている。又、家族の協力も得てお寺参りや仏壇がある利用者に対して、定期的なお参りを出来る様、前もってお布施や仏花の用意をしたりと配慮している。遠方のご家族や知人には、電話での会話が出来る様に支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係性について、情報連携をし全ての職員が共有出来る様にしている。個別に話を聴いたり、相談にのったり、皆と楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りをするなど調整役となるよう対応している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院にて退去されているので、これまでの生活状況や支援の内容について情報を提供をし連携を心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を傾聴し把握する様に努めている。表現が困難な場合には、ケースカンファレンスを通して意見交換やご家族や関係者から情報を得るようにし、本人の立場になり検討する様努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にはご家族に書面として生活歴を記載して頂く協力を得ている。又、来設時や計画説明時など日々の中で今までの暮らしを捉えていくよう努めている。入居前の担当ケアマネと連携をとり、生活状況等の把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者一人一人の生活リズムを理解するとともに、できる事を続けていけたり、一緒に楽しめる機会作りを努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人やご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させる様にしている。個別性を大切に具体的な計画を立て、ケアに生かせる様努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	基本的に3ヵ月に1度の見直しを行っている。本人・家族の要望に応じて、期間に捉われず見直しをしている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録は、個別記録である暮らしのシート、私の求める関わり方シートに記入している。記録を基に、気づきを共有し介護計画の見直しに繋げている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	家族の状況に応じて受診の支援や本人の意向での買物やドライブ等柔軟な対応に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	個人ボランティアによる三味線演奏での民謡やハーモニカ鑑賞、保育園児によるお遊戯を披露して頂いたりと行事での交流の機会作りをしている。消防署は、火災訓練・救急救命訓練を職員・利用者全員で受けている。警察では災害時や行方不明時に関する相談をしている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現状では、美容は馴染みや近隣で行っているが、福祉美容師にて訪問美容も状況により活用していきたい。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて連絡を取り合っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	これまでのかかりつけ医の医療を受けられる様、本人・家族の希望に応じて対応している。受診同行時には、代弁者となり体調の報告をし結果はご家族に連絡している。基本的には家族同行の受診となっているが、不可能な時には職員が代行している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	神経科に受診をし、状況の相談をし内服の調整の指示を受けているが、対応できるならば薬は服用しない方向性である。医師からは積極的な状況把握はされていないと感じているので、常に職員から状態を伝える努力が必要と捉え対応している。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師が常勤で配置し、状態に応じた支援を行っている。体調の変化やいつもと違うという感覚を大切にスタッフ間で情報共有に努め、気づいた事があれば、看護師に報告をし医療に繋げている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、情報提供をし入院中には面会をし様子や状況把握に努め、退院時には家族とともに情報を得る様にしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	本人・家族の意向を尊重し医療機関とも相談をし対応をしている。重度化に伴う同意書を作成し、事業所が対応し得るケアについて説明を行っている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	全体カンファレンスを通し、事業所が対応し得るケアについて話し合いをしている。又、個別に合わせた歩行器を用意したり、バスリフトの検討(デモ機の活用)をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>現状では該当する方はいないが、住み替え時には状況や習慣など暮らし方の情報提供に努めていく。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>親しみのある言葉の中にも礼儀を大切に、職員間でもお互い指摘しあうようにしている。援助が必要な時も、本人の気持ちを大切に考え自己決定しやすい言葉かけをする様に努めている。面会者名簿がノートで記載していた為、誰でも閲覧出来る状態であったので、変更をしている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>個々の状態に合わせ、答え易く、選び易い様な声をかけたり、失語症の方に対し、ジェスチャーにてのコミュニケーションから希望を表出されている場面もある。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ホームの基本的な流れはあるが、体調やペースを大切に本人がしたいと思っている事は大切に、可能な限り対応している。しかし、入浴や行事等ホームの都合で決めている事も少なくない。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>本人のこだわっているスタイル(エプロン、足カバー、バンダナなど)を把握し、その人らしさを保てるように努めている。定期的に理美容への声かけをし、ご本人希望の店へいける様に支援している。着衣の乱れ、汚れ等に対し声をかけきれいな姿で過ごせる様支援している。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者の状況や力に合わせ、食事準備や後片付けを一緒に行っている。季節の山菜等と一緒に下準備を行う事で季節を感じたり、調理法を相談する事で楽しみの一つとなっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	一人ひとりの好みや意向を大切に、健康面への配慮をしつつ可能な限り対応している。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	オムツを使用しているも、トイレでの排泄が出来る様に排泄パターンを把握したり、パットやリハビリパンツなどその人にとってどれが合うか検討しながら行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	以前に午前の入浴をした事があるが、現在は希望はなく、曜日・時間の設定内で可能な限り希望を大切にしている。入浴をされない方もいるので、入りたくない理由を考え、個々のタイミングを考えて対応している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	1日の流れを通して、休息パターンを把握しゆっくりと休める様に環境づくりをしている。いつものパターンとは違う時には、外出などによる疲労が考えられたりするので配慮をし対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの好みや楽しみ、力を発揮できる様に背景を把握し、花や野菜作り、家事、縫い物、パークゴルフ、犬と触れ合うなど個々に合わせて支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望や個々の状況に応じ、ご家族と相談しながら所持出来る様に努めている。手持ちのお金のしまい忘れなどもフォローしたり、確認をし、自分で支払える喜びも実感出来る様支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ゴミ捨てや花や野菜作り、タバコを買いに行くなど外出出来る様支援している。又、希望に沿い自宅へ同行したり、買物やドライブ、夏祭りなどへ安全に外出出来る様状況に応じ、車椅子を使用している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	数名で市外へドライブしたり、白鳥や羊などを見に行くなど支援している。家族と外出される方は特定されているが、遠方の息子さん宅や法事へ行かれたりする機会がある。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	2名の方は、専用の電話を設置している状況で、設置していない方に対しても希望時や母の日、父の日に荷物が届いた時には、勧めてお礼の電話が出来る様、個々の状況に応じて支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族、知人、友人等の面会があり、気兼ねなくゆっくりくつろいで交流を楽しめる様、声かけやお茶の用意をしたり、食卓スペースの活用を勧めている。食事時間に近い場合や入浴時の面会時は、忙しそうに見受けられる可能性があるため、配慮していきたい。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに関し、認識をもちどの様な思いでいるか検討しながら支援している。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	施設での心理的影響は理解しており、日中は開放している。安全確保の為、出入口にベルを設置し、入居者個々の動向の把握に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は、利用者の所在や様子を自然と確認している。記録上も居場所のチェック項目を設け統一してケア出来る様に努めている。夜間に関しても、利用者の状況を把握しやすい位置にいる。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個々の利用者の状態に合わせて、本人・家族と相談しながら身近に置くなど検討している。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	個々の状態から危険を検討し、話し合いを行い事故防止に努めている。ヒヤリハット・事故報告書の活用をし、職員全員で共有をし再発防止に努めている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全職員が消防による心肺蘇生法、誤嚥、出血や骨折時の対応方法について学んでいる。年1回の取り組みなので、今後年2回の取り組みを検討している。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年3回、消防と消防設備会社の協力を得て、防災訓練を行い、悪条件の夜勤帯を想定し利用者とともに訓練を行っている。地域の協力が得られる様、運営推進会議にてお話ししているが、実際参加して頂くまでには至っていない。	○	災害時に備えた物品の準備をし、職員に浸透出来る様努めていきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	主に、介護計画説明時に時間をとり家族と話し合いを設けている。ご本人・家族の希望を大切に対応する事を基本としているが、抑圧感のない暮らしに対し、ホーム側の体制についても報告をし理解して頂ける様努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルサインチェックや食事・水分摂取状況、排泄状況など確認する習慣があり、変化時には看護師に速やかに報告が来ている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の追加・変更時には、日誌の記載と伝達をし内容を把握できる様にしている。薬品名カードの整理に努め、受診時記録を分かり易く記載する様にしている。薬の整理や服薬準備時にはダブルチェックをし注意深く対応している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便有無自体が不明確な状況があるので、トイレ内の汚染や行動、臭気などで確認をする様努め、水分摂取や乳酸菌飲料、野菜を多く摂れる様に配慮したり、適度な運動など行える様に努めている。又、主治医の指示のもと、起床時の水水飲用や腹部マッサージをし困難な場合は看護師による処置にて対応している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝と就前に歯磨きの声かけや部分介助にて支援している。特に入居当初は殆んどの方が歯磨きを毎日行う習慣がないので、一方的な誘導とならない様、ご本人のペースやタイミングをみて支援している。又、義歯の管理についても支援している。	○	昼食後の清潔保持について、個々の力に合わせた対応をしていきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスを考え献立をし、個々に合わせて摂取し易い様な形態への配慮をしている。水分摂取量は毎日不足ないか気にとめ、記録をし水分摂取の必要性について認識している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策の見直しをしマニュアルも具体化し実行している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板や包丁の使い分けや消毒、使い捨て手袋の着用や居室を含め冷蔵庫内の清掃をし、清潔・衛生管理に心掛けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	裏玄関には、ホームの愛犬を飼い、近隣の方が立ち寄る機会が多くなっている。敷地内のパークゴルフができる空間やベンチを設置したりお花を飾るなどしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングのソファや食卓の配置は、使用し易く危険のない様、全体の状況に合わせて変えている。利用者の写真や歌が好きな方も多いため、昔の歌などを書き出し掲示したり、季節に合わせたインテリア造花の設置をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	以前はリビングを2ヶ所としていたが、活用頻度がなくなりリビングは1ヶ所となっている。和室も少し離れた場所にある為か活用はされていない。1ヶ所の共有空間で気の合う同志では良い関係となっているものの、反面気の合わない方に対するの支援に時間をかけ、対応している場面も多い。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの物や好みの物を置かれたり、2名の方が仏壇を置かれている。居室内には家族の写真が飾られている方が多い。入居当初は、新しい品物やペットなどを揃えてしまう傾向があるので、馴染みの物や愛用品などの大切さを家族と話し合い協力して頂ける様努めている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	入居者の反応を見ながら、温度調節は常時行っている。加湿器の設置をしている。Dr.ノア(超音波噴霧器)、インテリア造花にて脱臭・除菌を定期的に行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の身体状況に合わせ、手すりの設置や不要な物を取り除いたり、居室前に目印となるお花や写真を飾るなどの配慮をしている。</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>わかることやできる事を支え、混乱や失敗した際には、その都度、何故か話し合いを し対応について検討している。</p>		
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の裏には、パークゴルフが出来る様になっている事や、外回りにはプランターにて花や野菜を作っている。洗濯物や日光浴、愛犬と触れ合う事が出来る様に物干し竿やベンチ等もあり、活用されている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)・心や身体の変化の把握に努め、安心して生活出来る様支援致します。・ご本人の「できること」「大切にしている事」を支えます。その方の力を発揮できる場面作りを考えて対応致します。・ご家族とのつながりを大切にし対応致します。・地域の中で暮らしている事を実感出来る様、個々に合わせた外出支援を致します。・利用者間の関係性の把握に努め、関係作りへの支援をさせていただきます。